



神戸老眼大学会『能楽仕舞部』へのお誘い

能楽仕舞部では、普段着の洋服で白足袋と扇だけを使って、古典芸能の世界を実感していただけます。適度の運動にもなり、老後の趣味としても最適です。能楽堂での発表会はありません。(特にご希望の方は、コミスタこうべの演芸会などに出演できます) ご関心のある方は、毎月第1と第3の木曜日、午後1時から5時までコミスタこうべ・3階和室の稽古場へお越しください。お待ちしております。

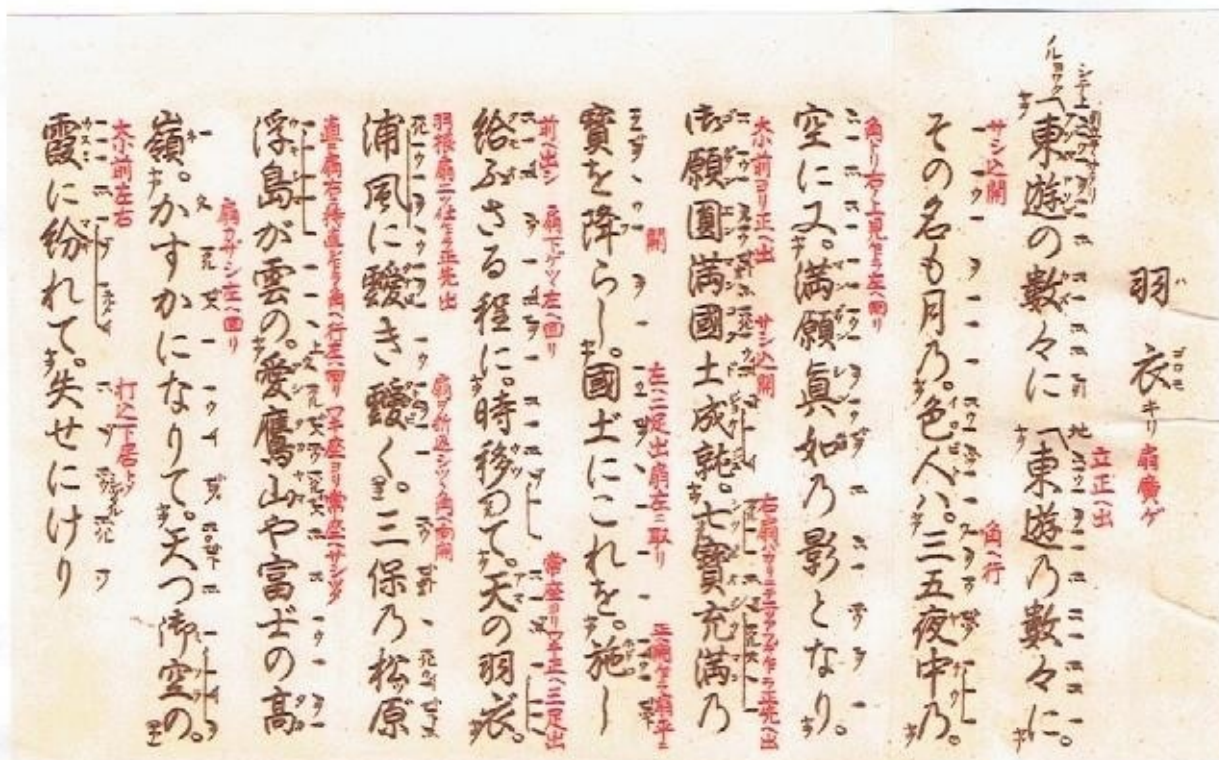
『能楽(能)』は650年あまりも続いてきたわが国が世界に誇る古典芸能で、平成13年には世界文化遺産にも認定されました。『能』は、能装束を着て能面をつけ大鼓・小鼓・太鼓・笛で囃し狂言も参加して能舞台上で演じる、いわば歌舞劇ともいえるものです。一方、結婚式などでおなじみの『謡(うたい)』は、能の一部として能面・能装束・囃子などナシで、能の台本の詞章をうたうものです。また、『仕舞(しまい)』は、能の舞の一部で見どころのある部分を能面・能装束・囃子などナシで、謡にあわせて舞うものです。

能を演じるのは費用も年数もかかって素人にはシキイが高くて大変なのですが、謡や仕舞は手軽にこの古典芸能を楽しむことができるため、江戸時代から一般庶民にも愛されてきました。

能楽仕舞部は、この古典芸能を『むつかしいシキタリなどから解き放し、現代の一般市民の趣味として気軽に楽しむこと』を目的として稽古しています。

(和服を着て能舞台上で謡曲・仕舞を体験したいとのご希望のある方には、講師の自宅(神戸市北区惣山町)にある舞台を使っていただくこともできます)

下記は、有名な『羽衣』のキリの部分の仕舞型附(振り付け)です。



- 部費 2,000円(月) 別途 神戸老眼大学会会費 3,500円(毎年4月のみ)
- 申込 お問い合わせ 部長 榎谷 進一 078-793-7290